

海外感染症流行情報 2024 年 11 月

(1) 全世界: COVID-19 の流行状況

欧米諸国では 11 月に入っても COVID-19 の患者数増加は見られていません(米国 CDC 24-11-23、ヨーロッパ CDC 24-11-22)。一方、日本では 11 月中旬から全国的に患者数が増加傾向にあります(厚生労働省 24-11-22)。ウイルスの種類としてはオミクロン株 JN.1 系統の XEC 型が、世界的に増えています(WHO corona 24-11-6)。今後、北半球では XEC 型が中心になり、冬の流行が起こるものと予想されます。

(2) 全世界: エムポックスの流行状況

アフリカでのエムポックスの流行状況は最近 1 ヶ月で大きな変化がみられておらず、重症化しやすい 1 型の患者は、コンゴ民主共和国、ブルンジ、ルワンダ、ウガンダなどで発生しています(WHO Mpox 24-11-21)。アフリカ以外では、この 1 ヶ月にインド、英国、米国で 1 型の患者が確認されており、英国では 4 人の集団感染が発生しました(英国 Health Security Agency 24-11-4)。

(3) アジア: デング熱の流行状況

東南アジアでは 11 月になり、デング熱の流行が収束に向かっています(WHO 西太平洋 24-11-14)。各国ともに、患者数は例年並みか少ない数でした。一方、南アジアでは 11 月に入っても患者発生が続いており、インド、パキスタンなどでは例年よりも患者数が増えています(WHO 南東アジア 24-11-13、米国 CDC 24-11-15)。

(4) アジア: 麻疹の流行状況

アジアではここ数年、各地で麻疹の流行が発生しています。米国 CDC が最近発表した高リスク国には、インドネシア、フィリピン、マレーシア、タイ、スリランカ、パキスタンなど東南アジアや南アジア諸国とともに、中東のサウジアラビアやトルコも含まれています(米国 CDC 24-11-21)。こうした国々に滞在する場合、麻疹罹患歴が無く、ワクチンを2回接種していない人は、追加接種を受けるようにしましょう。

(5) アフリカ: エチオピアでのマラリア流行

エチオピアでは今年になりマラリア患者が730万人発生し、1000人以上が死亡しました(WHO 24-10-31)。過去7年で最多の患者数になります。重症化する熱帯熱マラリアが大多数で、北部のアムハラ地域や南部のオロミア地域で多くなっています。エチオピアは日本からの直行便もあるため、近年観光客が増えており、滞在中は蚊の対策などマラリア予防を実施することが必要です。

(6) 北米: 米国、カナダで H5N1 型患者発生が続く

米国では今年、鳥インフルエンザ H5N1 型ウイルスの患者が発生しており、11月下旬までに55人となりました(米国 CDC 24-11-22)。この1ヶ月は、カリフォルニア州を中心に20人以上発生しています。患者の大多数はウシや家禽の牧場労働者で、症状は結膜炎や上気道炎など軽度です。一方、カナダのブリティッシュ・コロンビア州では、11月初旬に10歳代の H5N1 型患者が発生し、重症になっています(カナダ保健省 24-11-13)。この患者はウシや家禽との発病前接触が否定されており、感染源が不明とのことです。